

看護と環境	4年・後期	1単位	教授 箕輪 千佳
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121074

### 1. 授業のねらい・概要

人間の内的・外的環境を健康的なものに整えることが、健康に資する活動の中でいかに重要であるかについて学び、過剰なストレスから人々をまもり、ストレスの少ない安心できる環境・人間らしく温かで落ち着いて過ごすことのできる環境などの諸条件について考える。

### 2. 到達目標

1. 環境との相互作用における健康について考察できる。
2. 心身相関について理解することができる。
3. 看護の対象である人間の健康および病気について、環境との関連を考えることができる。
4. 環境に適応し生きるということを考えることができる。

### 3. 授業の進め方

講義，演習を中心に進める。学生が主体的に演習できるようにする。

### 4. 授業計画（講義）

1. 看護の構成概念と環境と対処行動
2. 人間・健康・社会・自然現象の中にある環境の変化
3. 人間をみる見方，社会を見る見方，自然を見る見方
4. 事例検討（グループワーク）
5. 事例検討（グループワーク発表）
6. 身体と心への働きかけ（環境調整）
7. 事例検討（グループワーク）
8. 事例検討（グループワーク発表）

### 5. 成績評価の方法・基準

グループワークの発表（30%），レポート（70%）を総合的に評価する。  
再試験は平均点により実施しないことがある。

### 6. テキスト・参考文献

テキスト：茂野香おる（2018）：系統看護学講座 看護学概論 医学書院  
その他，講義で紹介する。

### 7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

事前課題に取り組み授業に出席すること。最低1時間以上の予習が必要。  
看護と環境・メンタルヘルスサポートに関する文献を読み，グループワークに反映できるように準備しておくこと。

### 8. 受講上の留意事項

主体的，意欲的な授業への参加が重要である。遅刻，欠席および授業中の私語，授業中に授業に関連する作業以外の行動は，参加態度として評価対象とするので注意すること。

### 9. 課題に対するフィードバックの方法

グループワークの発表に対してコメントする。

### 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。

### 11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして講義を行う。